【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和7年3月17日(2025.3.17)

【国際公開番号】WO2022/191266
【出願番号】特願2023-505622(P2023-505622)
【国際特許分類】
*A46B 15/00(2006.01)*
*A46B 13/02(2006.01)*
*A61C 17/34(2006.01)*
【FI】
A46B 15/00 J
A46B 13/02
A61C 17/34 E

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月7日(2025.3.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
歯を清掃するための電動歯面清掃装置であって、
本体ケースと該本体ケースの一端から延びる先細状のネック部とを備える本体部と、
前記ネック部の先端に回転可能に設けられたヘッド部と、
前記ヘッド部の装着台に着脱可能に装着される歯面清掃具と、
前記歯面清掃具を前記装着台に対して着脱可能に装着する装着手段と、
前記ケース本体に内蔵された電池及び電動モータと、前記電動モータの回転を前記装着台の回転運動又は往復回転運動に変換する変換機構と、を備え、
前記歯面清掃具は、液体歯磨き剤を含ませたメラミン樹脂発泡体スポンジを加熱及び加圧して圧縮状態で乾燥させてなることを特徴とする歯面清掃具である
ことを特徴とする電動歯面清掃装置。
【請求項２】
前記歯面清掃具を前記装着台に対して着脱可能に装着する装着手段は、面ファスナーである
ことを特徴とする請求項１に記載の電動歯面清掃装置。
【請求項３】
前記電動モータの回転を前記装着台の回転に変換する前記変換機構は、前記電動モータの出力軸の回転方向を軸直角方向に変換するベベルギヤによって構成されることを特徴とする請求項１又は２に記載の電動歯面清掃装置。
【請求項４】
前記電動モータの回転を前記装着台の往復回転運動に変換する前記変換機構は、
前記電動モータの出力軸の回転をロッドの往復直線運動に変換する第１の機構と、
前記ロッドの往復直線運動を揺動アームの揺動運動に変換する第２の機構と、
を備えることを特徴とする請求項１又は２記載の電動歯面清掃装置。
【請求項５】
前記第１の機構は、前記電動モータの出力軸に結着されたギヤと、該ギヤに噛合するリングギヤと、該リングギヤの回転中心から偏心した点を回転中心とする偏心カムと、該偏心

カムが係合する長孔を備える従動部材を含んで構成され、
前記第２の機構は、揺動端が前記装着台に径方向に形成された長孔に摺動可能に嵌合し、基端部の１点が前記ロッドの先端部に回動可能に連結され、同基端部の他の１点が揺動軸を中心として揺動可能に支持された揺動アームを含んで構成されることを特徴とする請求項４に記載の電動歯面清掃装置
【請求項６】
前記液体歯磨き剤は、ポリリン酸塩を含有する
ことを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載の歯面清掃具。
【請求項７】
前記液体歯磨き剤は、ポリエチレングリコールを含有する
ことを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載の歯面清掃具。
【請求項８】
前記液体歯磨き剤は、香味料を含有する
ことを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載の歯面清掃具。
【請求項９】
前記液体歯磨き剤は、フッ素化合物を含有する
ことを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載の歯面清掃具。
【請求項１０】
前記メラミン樹脂発泡体スポンジは、真空乾燥又は凍結乾燥により乾燥させたものである
ことを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載の歯面清掃具。
【請求項１１】
前記メラミン樹脂発泡体スポンジは、前記加圧により元の体積の約１／４の体積に圧縮されたものである
ことを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載の歯面清掃具。